この星に、美しい森をつくろう。

SHIELDPLUS

シールドプラス® は、木質素材 100%からなる紙を基材に
製紙用水系塗工技術を活用したバリア塗工層を付与することで誕生した
『紙製バリア素材』です。

シールドプラス® の特長

1 「紙」が基材であるため、環境適合性に優れる

- シールドプラス® の機材となる「紙」は循環型素材である「木」から作られています。プラスチックをベースとするバリア素材を「シールドプラス® 」に置き換えることで、バイオマス比率が向上、プラスチックのリデュースが図れます。
- シールドプラス® は生分解性を有しており、生分解性を有するシーラントフィルムと積層することにより、包材としての生分解性が向上します。

2 各種バリアフィルムに相当する酸素・フレーバーバリア性を有する

- 優れた酸素バリア性により内容物を保護し、品質を維持します。
- 優れたフレーバーバリア性により内容物の香りを保持し、「におい」漏れ・「におい」移りを抑えます。
- 屈曲耐性向上により、多様な包装形態への適用が可能です。

3 「紙」が持つ風合いにより、製品の差別化が可能

※ 写真はイメージです



シールドプラス®適用サンプル

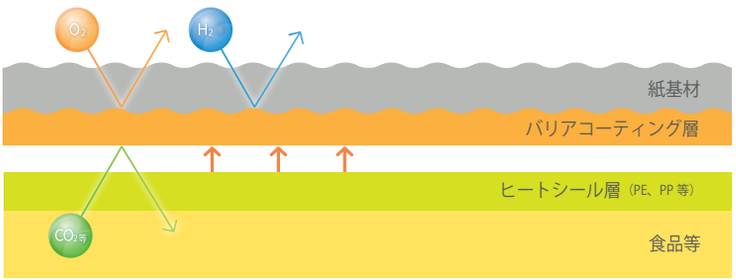
用途例

各種食品・家庭用品・化粧品・輸送などの包装用途、建築材料などの産業用途

弊社 HP にて、シールドプラスの製品紹介をしております。
本パンフレットもダウンロードできます。
下記より、ぜひご覧ください。

NIPPON PAPER INDUSTRIES CO.,LTD.

層構成イメージ



紙基材＋片面バリア塗工
SHIELDPLUS

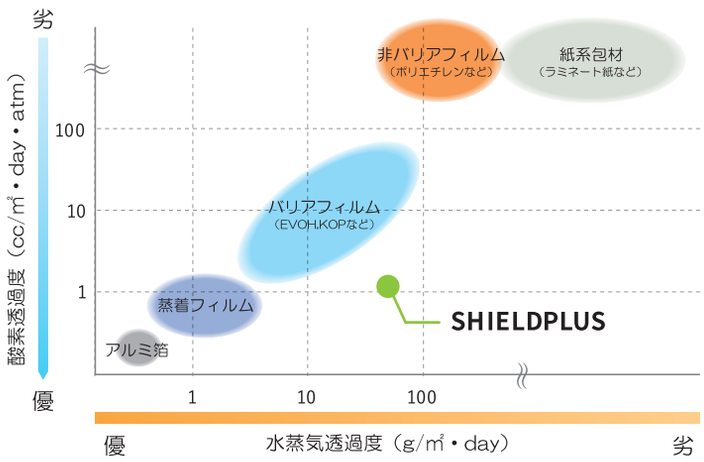
コンバーターにて
ラミネート加工

＊用途や要求に応じ、多様なシーラント層の設計が可能です。

（注意事項）
バリアコーティング層と食品の直触れ用途でのご使用は意図しておりません。
バリアコート面への水分付着には十分ご留意ください。

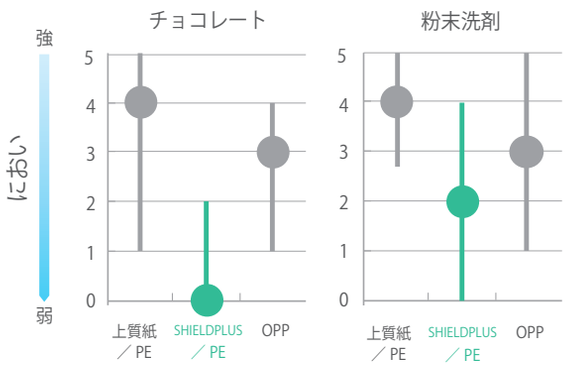
バリア性能

●酸素・水蒸気バリア性



●フレーバーバリア性

内容物の香りを保持し、におい漏れ・におい移りを抑えます。



※評価法
各フィルムで三方シール袋を作製後、試験体を充填して密封し、内容物の臭気の漏れ具合を0〜5の6段階にて官能評価（当社法）（◯：中央値、 ｜：評価結果上下限）

ラインナップ

※　2026.10 現在（変更の可能性あり）

	米坪 g/㎡	紙厚 μm	酸素透過度 cc/㎡・day・atm	巾 mm	流れ m	グラビア印刷適性	FDA対応
シールドプラスⅡ(上質白) □	60	約 70	5 >	1,000	2,000	-	○
シールドプラスⅡ(コート白) □	70	約 65	5 >	1,000	2,000	◎	○
シールドプラスⅡ(片艶茶) ■	60	約 75	5 >	1,000	2,000	○	○

＊このデータは参考値であり、保証値ではありません。
＊米坪は表示米坪であり、実測米坪ではありません。
＊酸素透過度の測定：バリア塗工面に L-LDPE30μをラミネートし、23℃・50%RH 環境下にて測定（JIS K7126-2 に準拠）
＊上記以外の寸法や仕様（森林認証紙など）につきましてもご用命承りますので、お気軽にご相談ください。
＊ラミネート加工は押出ラミネート加工を推奨しますが、上質白タイプについてはドライラミネート加工にも適しております。

日本製紙株式会社
〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 4-6（御茶ノ水ソラシティ）
パッケージング販売企画部
TEL：03-6665-5175
gpu70009@nipponpapergroup.com